

2018/1/22

柏の景気情報（平成30年12月分）

柏 商 工 会 議 所

（本件担当） 柏商工会議所 中小企業相談所 振興課
〒277-0011 千葉県柏市東上町7-18
TEL : 04-7162-3305
FAX : 04-7162-3323
URL : <http://www.kashiwa-cci.or.jp>
E-mail : info@kashiwa-cci.or.jp

柏の景気情報（平成30年12月分）

○ 調査期間 : 平成30年12月25日 ~ 平成31年1月8日

○ 調査対象 : 柏市内156事業所及び組合にヒアリング

＜産業別回収状況＞

| 調査産業 | 調査対象数 | 回答数 | 回収率 |
|------|-------|-----|-------|
| 全産業 | 156 | 70 | 44.9% |
| 建設 | 44 | 19 | 43.2% |
| 製造 | 33 | 15 | 45.5% |
| 卸・小売 | 44 | 20 | 45.5% |
| サービス | 35 | 16 | 45.7% |

○ 調査方法と調査表 : 下記「質問A」をDI値集計し、「質問B」で「業界内のトピック」の記述回答。

質問A

| 質問事項 | 回答欄 | | | | | |
|-------------------|--------------------|---------|---------|-----------------------------|---------|---------|
| | 前年同月と比較した 今月の水準 | | | 今月の水準と比較した向 こう3ヶ月の先行き見通し | | |
| a.売上高 (出荷高) | 1 増加 | 2 不変 | 3 減少 | 1 増加 | 2 不変 | 3 減少 |
| b.採算 (経常利益ベース) | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |
| c.仕入単価 | 1 下落 | 2 不変 | 3 上昇 | 1 下落 | 2 不変 | 3 上昇 |
| d.従業員 | 1 不足 | 2 適正 | 3 過剰 | 1 不足 | 2 適正 | 3 過剰 |
| e.業況 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |
| f.資金繰り | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 | 1 好転 | 2 不変 | 3 悪化 |

質問B 業界内のトピック(記述式)

$$DI値 = 1増加他の回答割合 - 3減少他の回答割合$$

※ DI値(景況判断指数)について

DI値は、売上、採算、業況などの項目についての判断状況を表す。0(ゼロ)を基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※ DI値と景気の概況

| | | | | |
|---------|--------------|-------------|--------------|----------|
| DI ≥ 50 | 50 > DI ≥ 25 | 25 > DI ≥ 0 | 0 > DI ≥ ▲25 | ▲25 > DI |
| 特に好調 | 好調 | まあまあ | 不振 | 極めて不振 |

【平成30年12月の調査結果のポイント】

《全産業況DIは変わらず。先行きは不透明感残り、横ばい圏内の動き》

○12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲12.8(前月水準▲12.8)となり、変わらなかった。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、サービス業△6.2(同▲13.3)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲30.0(同▲38.0)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業±0.0(同△12.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲21.0(同▲5.5)である。

【建設業】からは、「月々の大きな変化はなく、年間平均している。新しい年に期待」(電気工事業)、「畳工事は1、2月は受注が減るので、当社60周年記念としてシャッターや外壁を直したり、機械を新調したり、再スタートの準備をしたい」(内装工事業)、「安全対策関係の講習、工具買い替え、年度末に向けての引き渡し物件の人手不足、大手ゼネコンの自社専属外注発注へ移行等、今後の不安感は大い」(職別工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「年末の追い込み仕事は少しあったが、あまり良くはない」(印刷業)、「12月は稼働日数が少なかった為、前月比売上減。生産は冬季需要が伸び、来月以降に受注残を抱える状況。一時的な需要増とみて残業で消化する予定だが、向こう3ヶ月需要が落ち込まない状況であれば、パート等人員増が必要になりそう」(自動車付属品製造業)、「人手不足の為募集を掛けているが集まらない」(機械・同部品製造業)、「既成概念にとらわれたままでは前進できない業況ではあるが、周囲の状況に振り回されず、考え過ぎずの改革が必須」(印刷業)などのコメントが寄せられた。

【卸小売業】からは、「天候(気温)の影響により、冬物衣料等動向不良、大きな値下げに繋がる。年末はクリスマス含め大きくお金を使うという傾向はなく、景気の良さは感じられない。年始はインバウンドがほぼ無し」(各種商品小売業)、「クリスマス・年末の賑わいが年々薄く感じられる」(各種商品小売業)、「日本ワインが思ったより好調。11月からの表示変更の影響か、日本ワインが注目されている。例年になく多くの運送会社が年末年始長期休暇となり、配送が滞ってしまう事態に」(食料・飲料卸売業)、「銀行より積極的な融資あっせんが多い」(一般機械器具卸売業)、「2018年11月27日「フードストリート」オープン以降、来店客増に伴い売上に貢献」(各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「単月では前年対比0.5割増加したが、10、11月は良くなかったので1年トータルでは減少。3月の決算が楽しみ」(酒場・ビヤホール)、「米中経済戦争が強烈に響いてきた12月の世界経済。経営は足元を見て固いく時代に入ったと想定。日本の参議員選挙と消費税10%の駆け引きに注目」(投資顧問)、「TX沿線で30~40坪で飲食店出店希望の情報を頂くことが多くなったが、街が若いので手頃な飲食賃貸可の物件が少ない状況。コストを抑えて上手に出店できれば繁盛すると思う」(不動産賃貸・管理業)、「現在の好景気は年末と年度末の駆け込み(瞬間風速)のようなもの。やはり、来年度4月以降が不安」(ソフトウェア業)、「新年の高島屋、丸井の共同の鏡開きを見て、柏の安泰が見えた。絵空事の再開発に流されない、各々が現状を知恵と汗を流して作っていく市、会議所であってほしい」(不動産賃貸業)、「お客様の問い合わせは1~2割減少。高齢者の資産処分、相続物件の売却相談が増えている。全体的に売り物件が不足気味。取引件数は安定している」(不動産管理業)などのコメントが寄せられた。

◎一時的な売上増

各業種より、「消費税の駆け込み需要なのか、年末に向けて前年度よりも仕事が多かった。年が明けて、暖かくなり4月までは着工が少ないのではないだろうか」(一般土木建築工事業)、「上旬は暮れの盛り上がりは全くなく、中旬になり一気に昨年の売上を越した。寒さが急に増した事が要因だが、コートの売上増が金額的には大きい」(婦人・子供服小売業)、「年末のマル得チケットに掲載され、それが昨年が続いて好調。来年もお願いしたい」(菓子・パン小売業)との声が寄せられた。

◎原材料高騰

各業種より、「ゆっくり動いていた工程が12月に入り急激な忙しさに。年末引き渡し物件の為だが、働き方改革等で工期が足りなくなった結果である。天候に弱い現場施工の為、人手が足りず余分な経費出費が増えた。材料も上昇傾向」(職別工事業)、「紙の値上げが大幅にあり、採算が合わなくなる気配！」(印刷業)、「値上げ要請が止まらない」(機械・同部品製造業)、「米中貿易戦争のあおりを受け、中国が日本の古紙を高値で買う為、古紙不足となり原紙が高値で推移している」(紙製容器製造業)との声が寄せられた。

| | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸・小売 | サービス |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 7月 | ▲30.9 | ▲21.0 | ▲25.0 | ▲54.5 | ▲14.2 |
| 8月 | ▲11.4 | ▲5.8 | △7.1 | ▲37.5 | △6.6 |
| 9月 | ▲20.0 | ▲22.2 | ▲12.5 | ▲33.3 | ▲6.6 |
| 10月 | ▲12.8 | ▲10.5 | △6.2 | ▲36.8 | ▲6.2 |
| 11月 | ▲12.8 | ▲5.5 | △12.5 | ▲38.0 | ▲13.3 |
| 12月 | ▲12.8 | ▲21.0 | ±0.0 | ▲30.0 | △6.2 |
| 見通し | ▲15.7 | ▲42.1 | △13.3 | ▲30.0 | △6.2 |

見通しは今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

【平成30年12月の業況についての状況】

○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲12.8(前月水準▲12.8)となり、変わらなかった。

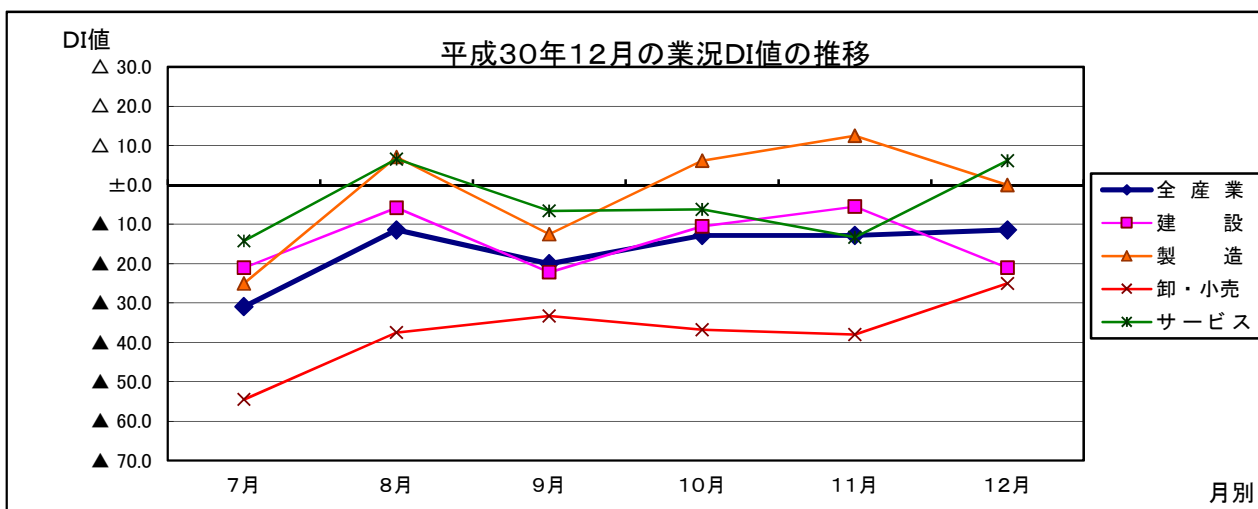
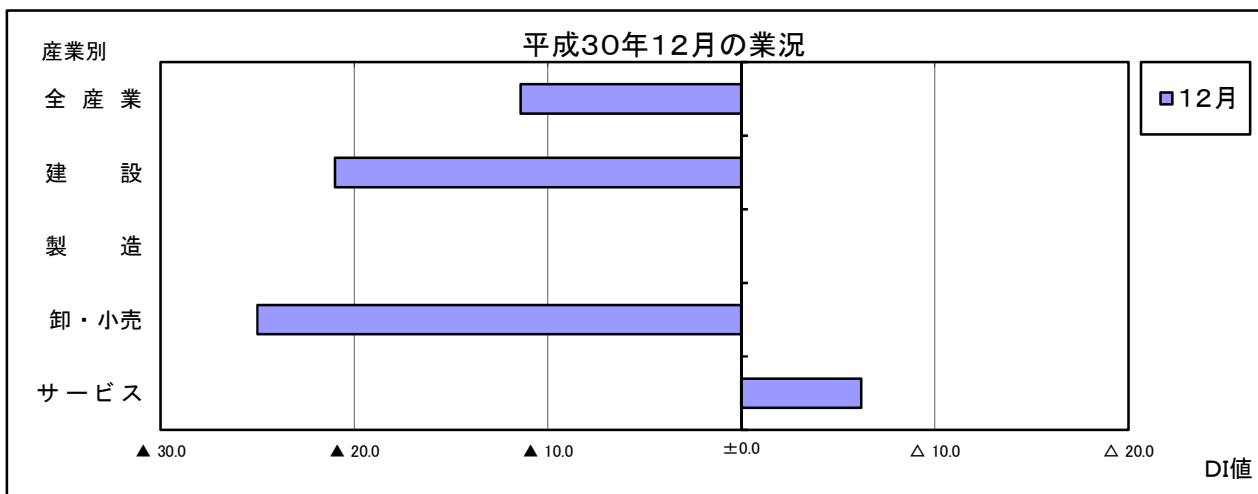
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、サービス業△6.2(同▲13.3)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲30.0(同▲38.0)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業±0.0(同△12.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲21.0(同▲5.5)である。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、▲15.7(前月水準▲8.5)となり、マイナス幅が7.2ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、製造業△13.3(同△12.5)である。マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、サービス業△6.2(同▲13.3)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、建設業▲42.1(同▲16.6)、卸小売業▲30.0(同▲14.2)である。

平成30年12月業況DI値(前年同月比)の推移

| | 平成30年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1月~3月(12月~2月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業 | ▲30.9 | ▲11.4 | ▲20.0 | ▲12.8 | ▲12.8 | ▲11.4 | ▲15.7(▲8.5) |
| 建設 | ▲21.0 | ▲5.8 | ▲22.2 | ▲10.5 | ▲5.5 | ▲21.0 | ▲42.1(▲16.6) |
| 製造 | ▲25.0 | △7.1 | ▲12.5 | △6.2 | △12.5 | ±0.0 | △13.3(△12.5) |
| 卸・小売 | ▲54.5 | ▲37.5 | ▲33.3 | ▲36.8 | ▲38.0 | ▲25.0 | ▲30.0(▲14.2) |
| サービス | ▲14.2 | △6.6 | ▲6.6 | ▲6.2 | ▲13.3 | △6.2 | △6.2(▲13.3) |



【平成30年12月の売上についての状況】

○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲8.5(前月水準▲10.0)となり、マイナス幅が1.5ポイント縮小した。

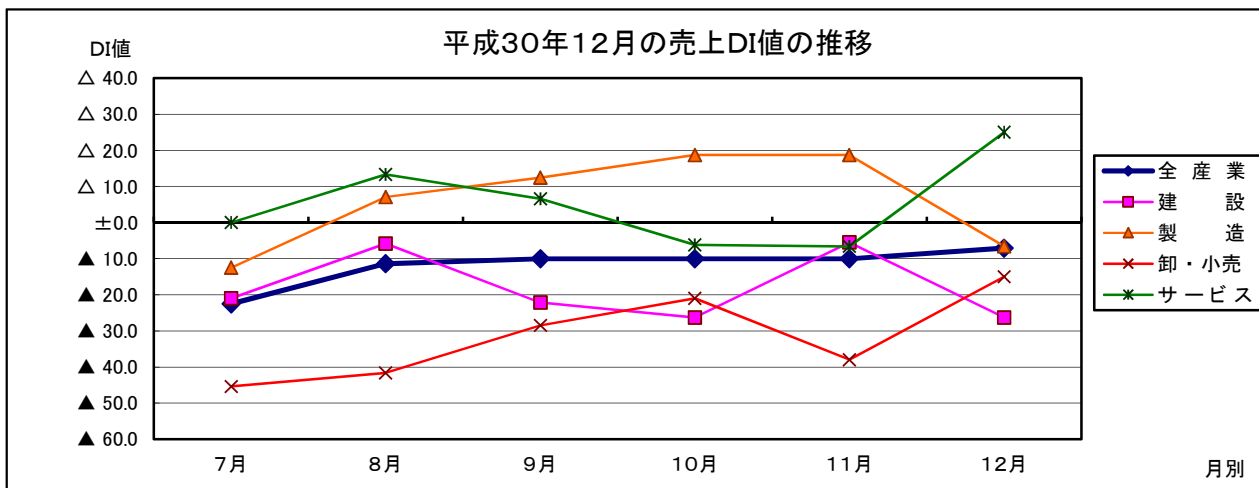
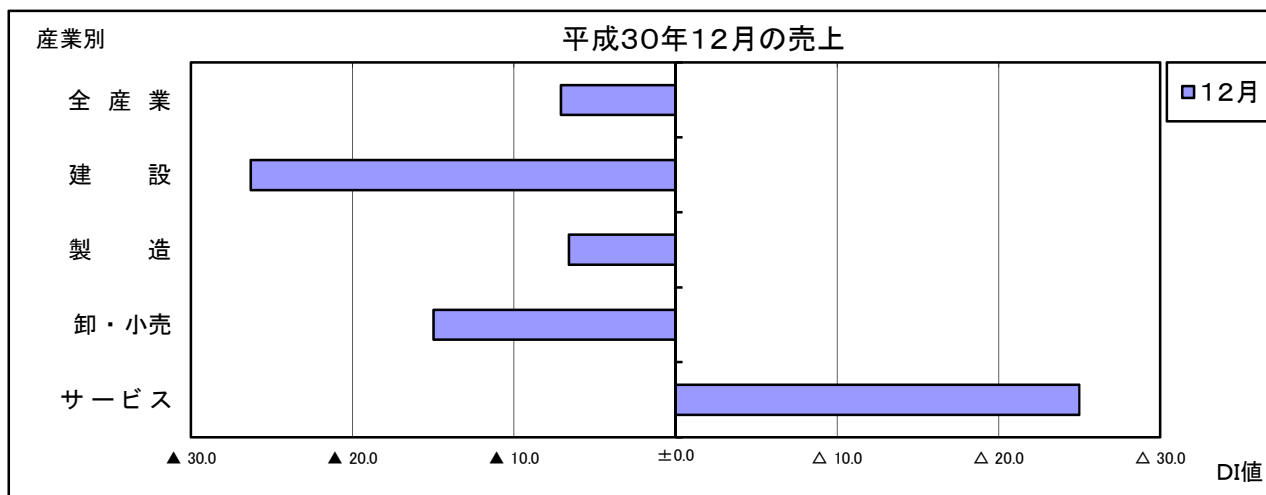
業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、サービス業△25.0(同▲6.6)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲20.0(同▲38.0)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲6.6(同△18.7)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲26.3(同▲5.5)である。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、▲5.7(前月水準▲7.1)となり、マイナス幅が1.4ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業△13.3(同±0.0)、サービス業△12.5(同△6.6)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲25.0(同▲19.0)、建設業▲15.7(同▲11.1)である。

平成30年12月の売上DI値(前年同月比)の推移

| | 平成30年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1月~3月(12月~2月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業 | ▲22.5 | ▲11.4 | ▲10.0 | ▲10.0 | ▲10.0 | ▲7.1 | ▲5.7(▲7.1) |
| 建設 | ▲21.0 | ▲5.8 | ▲22.2 | ▲26.3 | ▲5.5 | ▲26.3 | ▲15.7(▲11.1) |
| 製造 | ▲12.5 | △7.1 | △12.5 | △18.7 | △18.7 | ▲6.6 | △13.3(±0.0) |
| 卸・小売 | ▲45.4 | ▲41.6 | ▲28.5 | ▲21.0 | ▲38.0 | ▲15.0 | ▲25.0(▲19.0) |
| サービス | ±0.0 | △13.3 | △6.6 | ▲6.2 | ▲6.6 | △25.0 | △12.5(△6.6) |



【平成30年12月の採算についての状況】

○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲18.5(前月水準▲21.4)となり、マイナス幅は2.9ポイント縮小した。

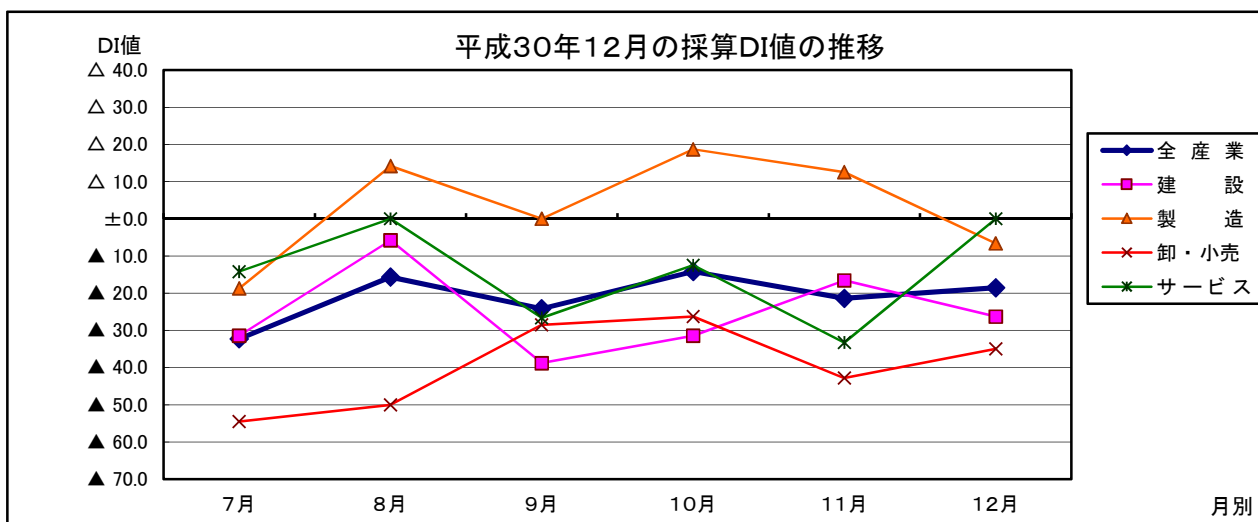
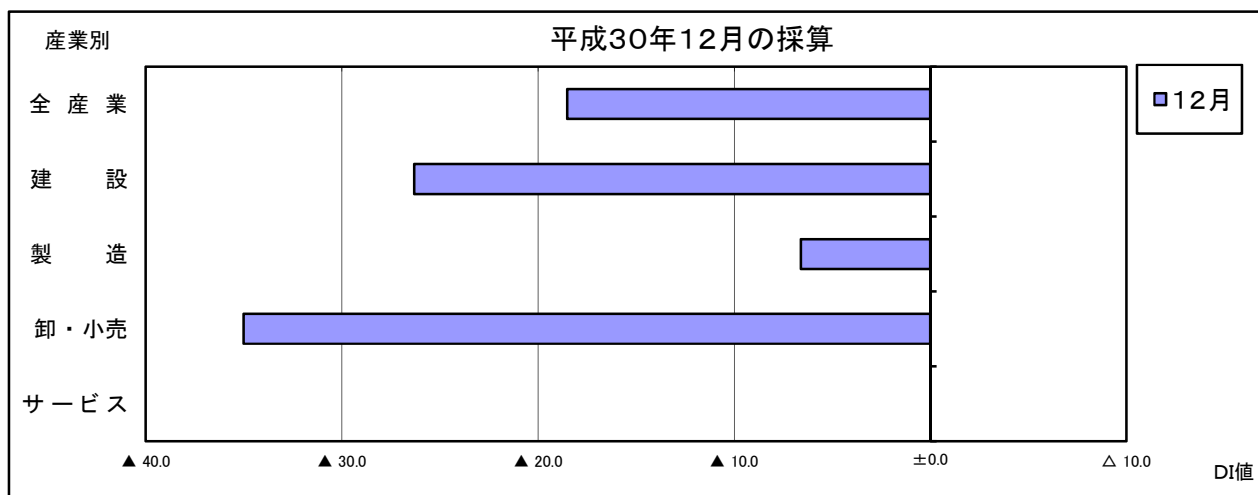
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業±0.0(同▲33.3)、卸小売業▲35.0(同▲42.8)である。プラスからマイナスに転じた業種は、製造業▲6.6(同△12.5)である。マイナス幅が拡大した業種は、建設業▲26.3(同▲16.6)である。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、▲11.4(前月水準▲21.4)であり、マイナス幅が10.0ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じる見通しの業種は、幅の大きい順に、サービス業△25.0(同▲6.6)、製造業△6.6(同▲6.2)である。マイナス幅が縮小する見通しの業種は、建設業▲36.8(同▲44.4)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、卸小売業▲30.0(同▲23.8)である。

平成30年12月の採算DI値(前年同月比)の推移

| | 平成30年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1月~3月(12月~2月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業 | ▲32.3 | ▲15.7 | ▲24.2 | ▲14.2 | ▲21.4 | ▲18.5 | ▲11.4(▲21.4) |
| 建設 | ▲31.5 | ▲5.8 | ▲38.8 | ▲31.5 | ▲16.6 | ▲26.3 | ▲36.8(▲44.4) |
| 製造 | ▲18.7 | △14.2 | ±0.0 | △18.7 | △12.5 | ▲6.6 | △6.6(▲6.2) |
| 卸・小売 | ▲54.5 | ▲50.0 | ▲28.5 | ▲26.3 | ▲42.8 | ▲35.0 | ▲30.0(▲23.8) |
| サービス | ▲14.2 | ±0.0 | ▲26.6 | ▲12.5 | ▲33.3 | ±0.0 | △25.0(▲6.6) |



【平成30年12月の仕入単価についての状況】

○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲31.4(前月水準▲37.1)となり、マイナス幅が5.7ポイント縮小した。

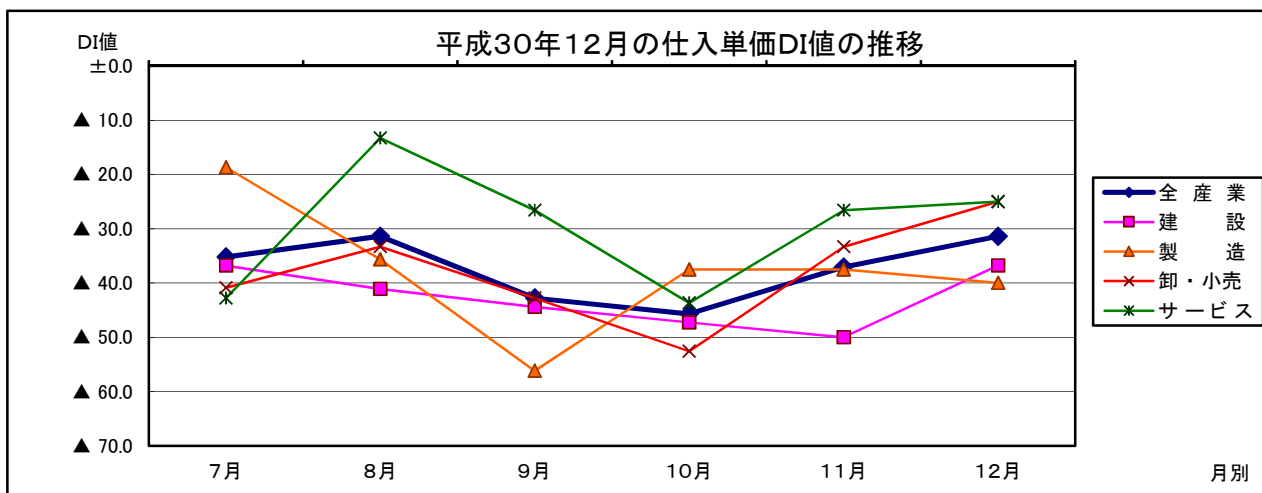
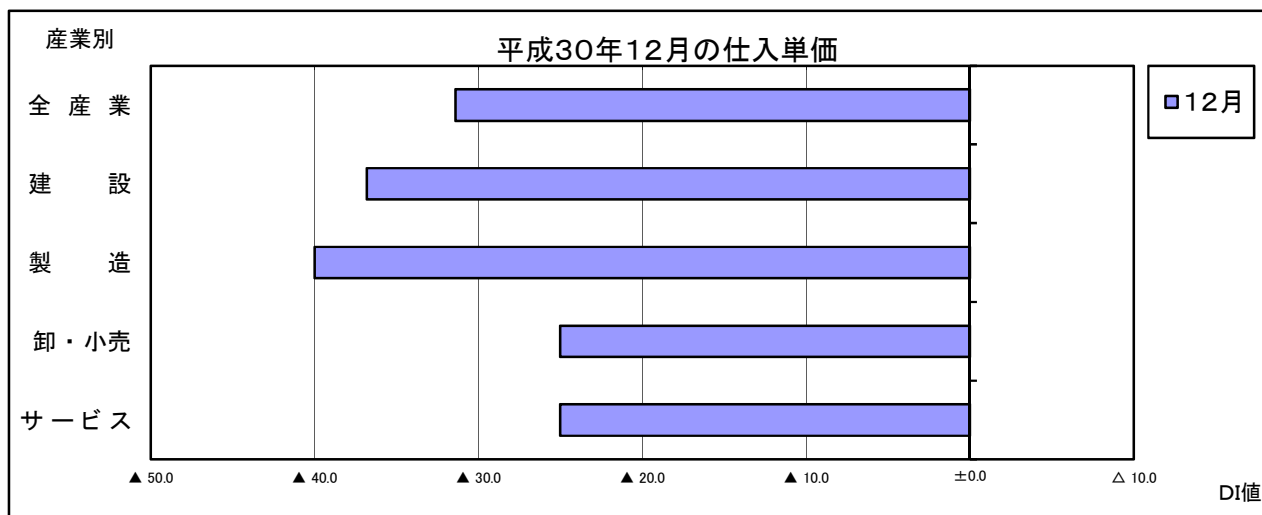
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業▲36.8(同▲50.0)、卸小売業▲25.0(同▲33.3)、サービス業▲25.0(同▲26.6)である。マイナス幅が拡大した業種は、製造業▲40.0(同▲37.5)である。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、▲34.2(前月水準▲28.5)となり、マイナス幅が5.7ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲25.0(同▲28.5)、サービス業▲31.2(同▲33.3)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、製造業▲40.0(同▲25.0)、建設業▲42.1(同▲27.7)である。

平成30年12月の仕入単価DI値(前年同月比)の推移

| | 平成30年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1月~3月(12月~2月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業 | ▲35.2 | ▲31.4 | ▲42.8 | ▲45.7 | ▲37.1 | ▲31.4 | ▲34.2(▲28.5) |
| 建設 | ▲36.8 | ▲41.1 | ▲44.4 | ▲47.3 | ▲50.0 | ▲36.8 | ▲42.1(▲27.7) |
| 製造 | ▲18.7 | ▲35.7 | ▲56.2 | ▲37.5 | ▲37.5 | ▲40.0 | ▲40.0(▲25.0) |
| 卸・小売 | ▲40.9 | ▲33.3 | ▲42.8 | ▲52.6 | ▲33.3 | ▲25.0 | ▲25.0(▲28.5) |
| サービス | ▲42.8 | ▲13.3 | ▲26.6 | ▲43.7 | ▲26.6 | ▲25.0 | ▲31.2(▲33.3) |



【平成30年12月の従業員についての状況】

○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、△22.8(前月水準△32.8)となり、プラス幅が10.0ポイント縮小した。

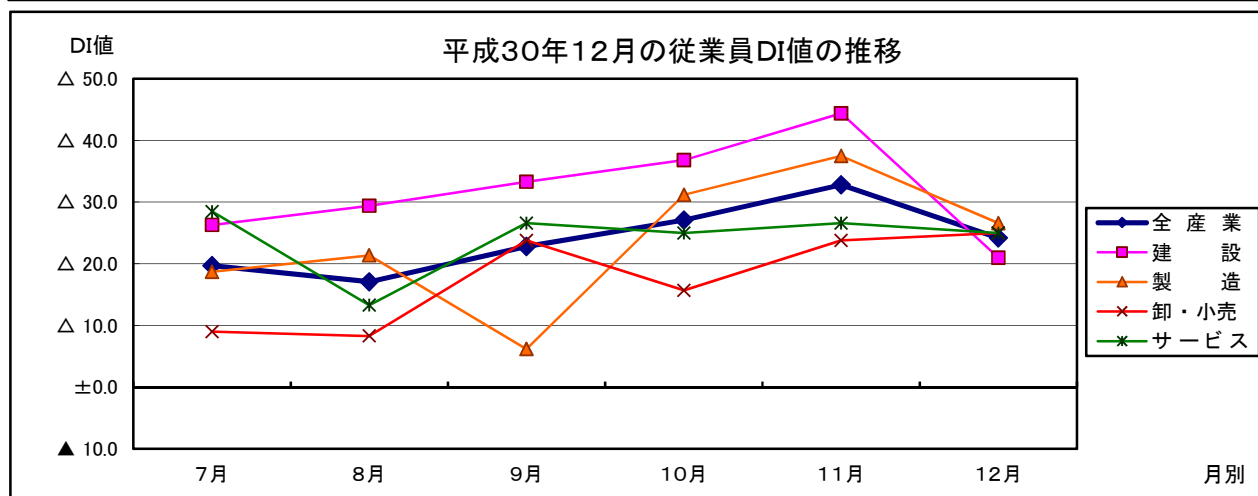
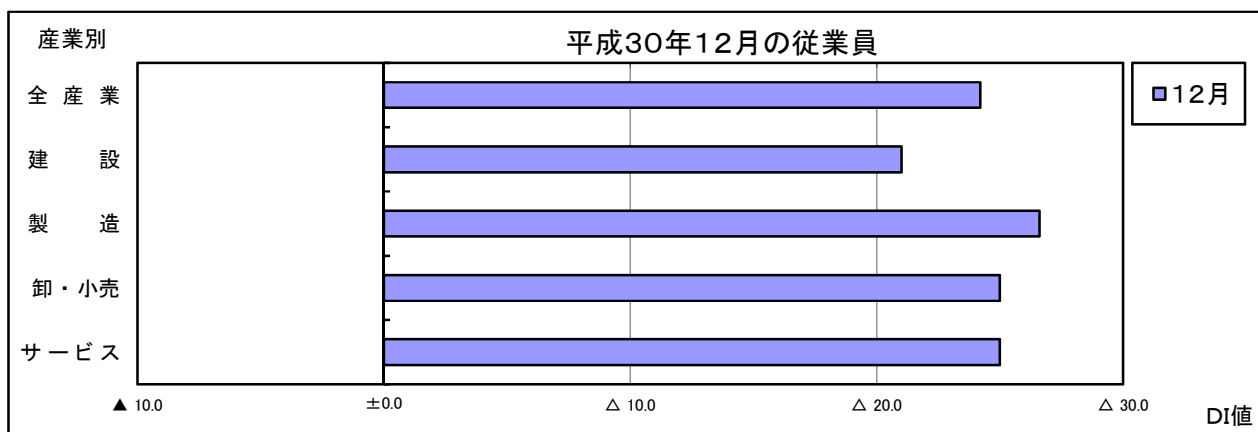
業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、建設業△21.0(同△44.4)、製造業△26.6(同△37.5)、卸小売業△20.0(同△23.8)、サービス業△25.0(同△26.6)である。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、△24.2(前月水準△31.4)となり、プラス幅が7.2ポイント縮小する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、プラス幅が拡大する見通しの業種は、サービス業△37.5(同△26.6)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業△15.0(同△28.5)、建設業△21.0(同△33.3)、製造業△26.6(同△37.5)である。

平成30年12月の従業員DI値(前年同月比)の推移

| | 平成30年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1月~3月(12月~2月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業 | △19.7 | △17.1 | △22.8 | △27.1 | △32.8 | △24.2 | △24.2(△31.4) |
| 建設 | △26.3 | △29.4 | △33.3 | △36.8 | △44.4 | △21.0 | △21.0(△33.3) |
| 製造 | △18.7 | △21.4 | △6.2 | △31.2 | △37.5 | △26.6 | △26.6(△37.5) |
| 卸・小売 | △9.0 | △8.3 | △23.8 | △15.7 | △23.8 | △25.0 | △15.0(△28.5) |
| サービス | △28.5 | △13.3 | △26.6 | △25.0 | △26.6 | △25.0 | △37.5(△26.6) |



【平成30年12月の資金繰りについての状況】

○ 12月の全産業合計のDI値(前年同月比ベース、以下同じ)は、▲7.1(前月水準▲11.4)となり、マイナス幅が4.3ポイント縮小した。

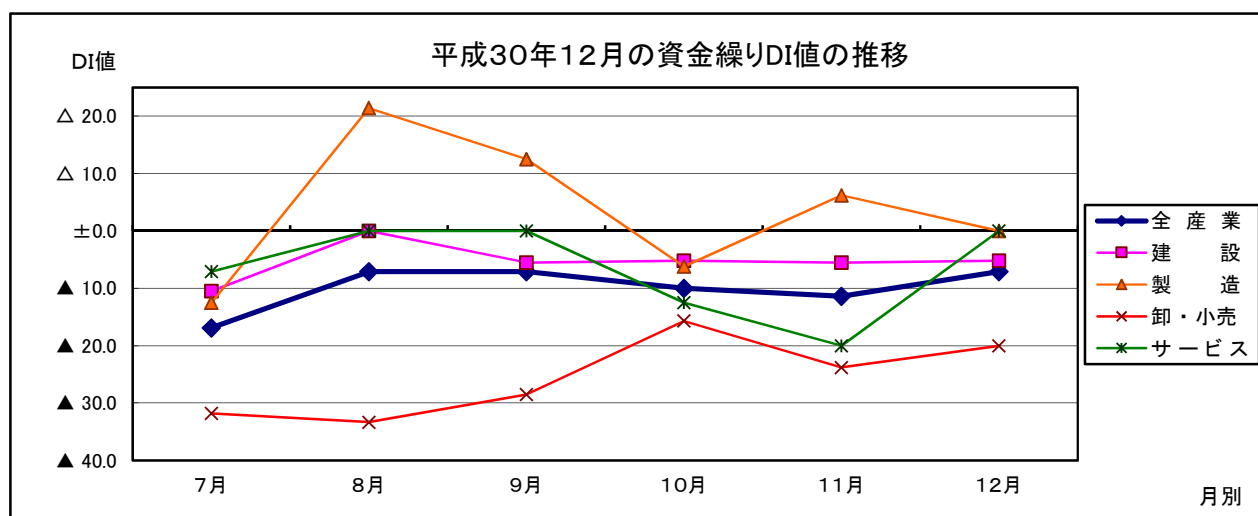
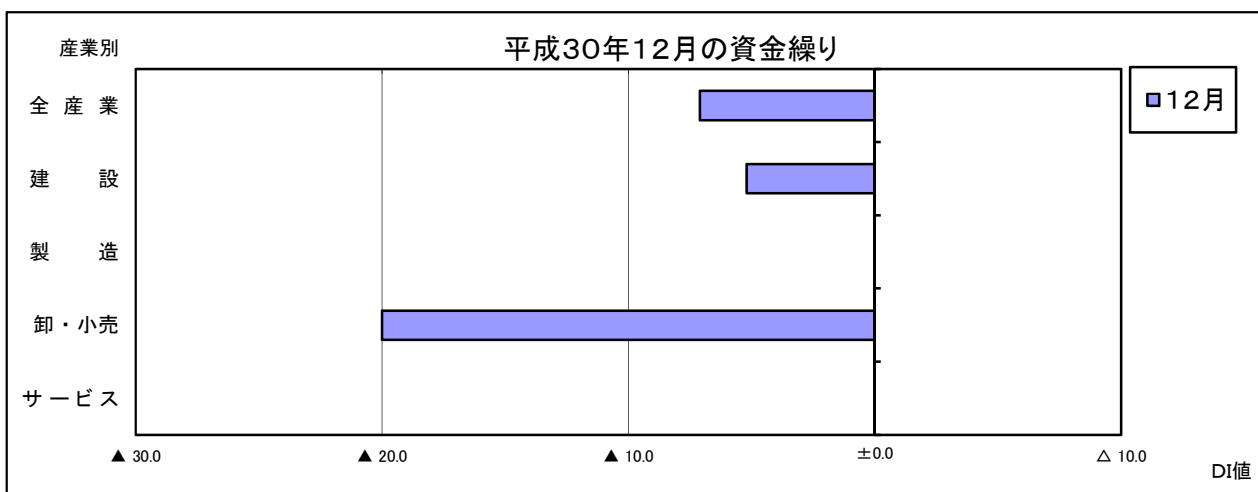
業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小した業種は、幅の大きい順に、サービス業±0.0(同▲20.0)、卸小売業▲20.0(同▲23.8)、建設業▲5.2(同▲5.5)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業±0.0(同△6.2)である。

○ 向こう3ヶ月(1月から3月)の先行き見通しについては、全産業では、▲14.2(前月水準▲1.4)となり、マイナス幅が12.8ポイント拡大する見通しである。

業種別では、前月水準と比べて、マイナス幅が縮小する見通しの業種は、サービス業▲6.2(同▲6.6)である。プラス幅が縮小する見通しの業種は、製造業±0.0(同△6.2)である。マイナス幅が拡大する見通しの業種は、幅の大きい順に、卸小売業▲25.0(同±0.0)、建設業▲21.0(同▲5.5)である。

平成30年12月の資金繰りDI値(前年同月比)の推移

| | 平成30年 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 先行き見通し 1月~3月(12月~2月) |
|------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------------------------|
| 全産業 | ▲16.9 | ▲7.1 | ▲7.1 | ▲10.0 | ▲11.4 | ▲7.1 | ▲14.2(▲1.4) |
| 建設 | ▲10.5 | ±0.0 | ▲5.5 | ▲5.2 | ▲5.5 | ▲5.2 | ▲21.0(▲5.5) |
| 製造 | ▲12.5 | △21.4 | △12.5 | ▲6.2 | △6.2 | ±0.0 | ±0.0(△6.2) |
| 卸・小売 | ▲31.8 | ▲33.3 | ▲28.5 | ▲15.7 | ▲23.8 | ▲20.0 | ▲25.0(±0.0) |
| サービス | ▲7.1 | ±0.0 | ±0.0 | ▲12.5 | ▲20.0 | ±0.0 | ▲6.2(▲6.6) |



【DI値集計表】

| | 売上高(受注・出荷) | | 採算 | | 仕入単価 | | 従業員 | |
|------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 全業種 | ▲ 7.1 | ▲ 5.7 | ▲ 18.5 | ▲ 11.4 | ▲ 31.4 | ▲ 34.2 | △ 24.2 | △ 24.2 |
| 建設 | ▲ 26.3 | ▲ 15.7 | ▲ 26.3 | ▲ 36.8 | ▲ 36.8 | ▲ 42.1 | △ 21.0 | △ 21.0 |
| 製造 | ▲ 6.6 | △ 13.3 | ▲ 6.6 | △ 6.6 | ▲ 40.0 | ▲ 40.0 | △ 26.6 | △ 26.6 |
| 卸・小売 | ▲ 15.0 | ▲ 25.0 | ▲ 35.0 | ▲ 30.0 | ▲ 25.0 | ▲ 25.0 | △ 25.0 | △ 15.0 |
| サービス | △ 25.0 | △ 12.5 | ±0.0 | △ 25.0 | ▲ 25.0 | ▲ 31.2 | △ 25.0 | △ 37.5 |

| | 業況 | | 資金繰り | |
|------|--------|--------|--------|--------|
| | 前年比 | 先行き | 前年比 | 先行き |
| 全業種 | ▲ 11.4 | ▲ 15.7 | ▲ 7.1 | ▲ 14.2 |
| 建設 | ▲ 21.0 | ▲ 42.1 | ▲ 5.2 | ▲ 21.0 |
| 製造 | ±0.0 | △ 13.3 | ±0.0 | ±0.0 |
| 卸・小売 | ▲ 25.0 | ▲ 30.0 | ▲ 20.0 | ▲ 25.0 |
| サービス | △ 6.2 | △ 6.2 | ±0.0 | ▲ 6.2 |

【平成30年12月業種別業界内トピックス】

| 業種別 | 概況 | トピック | 業種 |
|---|--|-----------------------|-----------|
| 建設 | 消費税の駆け込み需要なのか、年末に向けて前年度よりも仕事が多かった。年が明けて、暖かくなり4月までは着工が少ないのではないだろうか。 | 消費税増税 受注増加 | 一般土木建築工事業 |
| | 業種としては月々の大きな変化はなく、年間平均している。新しい年に期待している。 | 業績安定 新年度へ期待 | 電気工事業 |
| | 畳工事は1、2月は受注が減るので、来年は60周年記念でシャッターや外壁を直したり、機械を新調したり、再スタートの準備をしていきたい。 | 新年度準備 | 内装工事業 |
| | ゆっくり動いていた工程が12月に入り急激な忙しさとなった。年末引き渡し物件ののだが、働き方改革等で工期が足りなくなり忙しさが増した結果となった。天候に弱い現場施工なので、人手が足りず余分な経費出費が増えた。また、材料も上昇傾向に有り、安全対策関係の講習、工具買い替え、年度末に向けての引き渡し物件の人手不足、大手ゼネコンの自社専属外注発注へ移行等、今後の不安感は大きい。 | 人員不足 経費増加 先行き不安 | 職別工事業 |
| 製造業 | 年末の追い込み仕事が少ないだったが、あまり良くはない。紙の値上げが大幅にあり、採算が合わなくなる心配！ | 経費増加 | 印刷業 |
| | 12月は稼働日数が少なかった為、前月比売上減。生産は冬季需要が伸び、来月以降に受注残を抱える状況。一時的な需要増とみて残業で消化する予定だが、今後も向こう3ヶ月需要が落ち込まない状況であれば、パート等人員増が必要になりそう。 | 売上減少 受注増加 人員補充 | 自動車付属品製造業 |
| | 値上げ要請が止まらない。人手不足の為募集を掛けているが集まらない。 | 経費増加 人員不足 | 機械・同部品製造業 |
| | 米国と中国の貿易戦争のおおりの受け、中国が日本の古紙を高値で買う為、日本の古紙不足で原紙が不足して原紙が高値で推移している。 | 経費増加 | 紙製容器製造業 |
| | 既成概念にとらわれたままでは前進できない業況ではあるが、周囲の状況に振り回されず、考え過ぎずの改革が必須である。 | 事業改革 | 印刷業 |
| 卸小売 | 上旬、暮れの盛り上がりが全くなく、中旬になり一気に昨年の売上を越した。寒さが急に増した事が要因だが、コートの売上が金額的には大きい。 | 売上増加 | 婦人・子供服小売業 |
| | 天候(気温)の影響により、冬物衣料等動向不良、大きな値下げに繋がる。年末はクリスマスを含め大きくお金を使うという傾向はなく、景気の良さは感じられない。年始はインバウンドはほぼ無し。 | 売上減少 | 各種商品小売業 |
| | クリスマス・年末の賑わいが年々薄く感じられる。 | 売上停滞 | 各種商品小売業 |
| | 年末のマル得チケットに掲載され、それが昨年に続いて好調。来年もお願いしたい。 | マル得チケット効果 売上好調 | 菓子・パン小売業 |
| | 日本ワインが思ったより好調であった。11月からの表示変更の影響か、日本ワインが注目されている。昨年通りの推移であったが、例年になく多くの運送会社が年末年始長期休暇となり、配送が滞ってしまう事態になった。例年であれば、集荷した荷物は必ず年内に届けていたが、今年は荷物が多いため集荷すらしなくなった。運送費を値上げした上に荷物も集荷しない時代になり、ロジスティック(運送業)がいかに勝ち組業種であることが認識された1年であった。 | 売上好調 運送業への意見 | 食料・飲料卸売業 |
| | 銀行より積極的な融資あっせんが多い。 | 融資あっせん増加 | 一般機械器具卸売業 |
| | 2018年11月27日「フードストリート」オープン以降、来店客増に伴い売上に貢献。 | 売上増加 | 各種商品小売業 |
| サービス業 | 12月単月では前年対比0.5割増加したが、10月、11月は良くなかったので1年トータルでは減少になっている。来年3月の決算を楽しみにしている。 | 前年対比年間売上減少 | 酒場・ピヤホール |
| | 米中経済戦争が強烈に響いてきた12月の世界経済。日中経済も冷酒のようにまわってきた収益悪化。来るべき流れは留めることは容易でないだろう。ここ数ヶ月安倍政権に対するマンネリ化が31年ぶりの5兆円強の株式売却の外人筋。2兆7千億の資金調達ソフトバンク、個人に一方向的に売却は過去のNTT、郵政上場と同類項、ソフトバンクグループの一部を親子上場。最悪のシナリオを想定する。経営は足元を見て固くいく時代に入ったと想定。借入金の減額に。ただ明るい材料もある。米国で大統領本選で前年株が下がったことはない。日本も参議選と消費税10%の駆け引きに注目したい。 | 経済動向 | 投資顧問 |
| | お客様の問い合わせは1~2割減少しました。高齢者の資産処分、相続物件の売却相談が増えています。全体的に売り物件が不足気味です。取引件数は安定しています。 | 売上安定 | 不動産管理業 |
| | TX沿線で30~40坪で飲食店出店希望の情報を頂くことが多くなったが、街が若いので手頃な飲食賃貸可の物件が少ないのが状況。コストを抑えて上手に出店できれば繁盛すると思う。 | 飲食業出店希望増加 | 不動産賃貸・管理業 |
| | 現在の好景気は年末と年度末の駆け込み(瞬間風速)のようなもの。やはり、来年度4月以降が不安ですね。 | 先行き不安 | ソフトウェア業 |
| 新年の高島屋、丸井の共同の鏡開きを見て、柏の安泰が見えました。絵空事の再開発に流されない、各々が現状を知恵と汗を流して作っていく市、会議所であってほしい。 | 柏開発について | 不動産賃貸業 | |

◎一時的な売上増

各業種より、「消費税の駆け込み需要なのか、年末に向けて前年度よりも仕事が多かった。年が明けて、暖かくなり4月までは着工が少ないのではないだろうか」(一般土木建築工事業)、「上旬は暮れの盛り上がりは全くなき、中旬になり一気に昨年の売上を越した。寒さが急に増した事が要因だが、コートの上増が金額的には大きい」(婦人・子供服小売業)、「年末のマル得チケットに掲載され、それが昨年に続いて好調。来年もお願いしたい」(菓子・パン小売業)との声が寄せられた。

◎原材料高騰

各業種より、「ゆっくり動いていた工程が12月に入り急激な忙しさに。年末引き渡し物件の為だが、働き方改革等で工期が足りなくなった結果である。天候に弱い現場施工の為、人手が足りず余分な経費出費が増えた。材料も上昇傾向」(職別工事業)、「紙の値上げが大幅にあり、採算が合わなくなる気配！」(印刷業)、「値上げ要請が止まらない」(機械・同部品製造業)、「米中貿易戦争のあおりを受け、中国が日本の古紙を高値で買う為、古紙不足となり原紙が高値で推移している」(紙製容器製造業)との声が寄せられた。











平成30年12月CCI-LOBOとの比較











- 【業況DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲12.8に対し、「CCI-LOBO」が▲15.7で柏の方がマイナス幅が2.9ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業であり、10ポイント以上悪い。
- 【売上DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲8.5に対し、「CCI-LOBO」が▲7.6で柏の方がマイナス幅が0.9ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、卸小売業、サービス業であり、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、製造業であり、10ポイント以上悪い。
- 【採算DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲18.5に対し、「CCI-LOBO」が▲14.4で柏の方がマイナス幅が4.1ポイント大きい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、サービス業、製造業であり、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、卸小売業であり、建設業は10ポイント以上悪い。
- 【仕入単価DI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲31.4に対し、「CCI-LOBO」が▲39.6で柏の方がマイナス幅が8.2ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、製造業、卸小売業、サービス業であり、建設業、サービス業は10ポイント以上良い。
- 【従業員DI】 全産業合計では、「柏の景気」が△22.8に対し、「CCI-LOBO」が△25.8で柏の方がプラス幅が3.0ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業、卸小売業、サービス業であり、建設業は10ポイント以上悪い。
- 【資金繰りDI】 全産業合計では、「柏の景気」が▲7.1に対し、「CCI-LOBO」が▲8.7で柏の方がマイナス幅が1.6ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、建設業、製造業、サービス業である。「柏の景気」の方が悪い業種は、卸小売業である。











平成30年12月の柏の景気天気図











柏の景気情報と全国CCI-LOBOとの比較











| | | | | | |
|-------|---|---|---|--|---|
| 景気天気図 |  |  |  |  |  |
| | 特に好調 DI \geq 50 | 好調 50>DI \geq 25 | まあまあ 25>DI \geq 0 | 不振 0>DI \geq ▲25 | 極めて不振 ▲25>DI |











| 業況DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|---|--|--|---|
| 柏の景気 |  ▲ 11.4 |  ▲ 21.0 |  ±0.0 |  ▲ 25.0 |  6.2 |
| CCI—LOBO |  ▲ 15.7 |  ▲ 8.1 |  ▲ 9.7 |  ▲ 31.6 |  ▲ 12.4 |

| 売上DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|---|--|--|--|
| 柏の景気 |  ▲ 7.1 |  ▲ 26.3 |  ▲ 6.6 |  ▲ 15.0 |  25.0 |
| CCI—LOBO |  ▲ 7.6 |  ▲ 3.6 |  4.7 |  ▲ 26.6 |  ▲ 5.4 |

| 採算DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|---|--|--|---|
| 柏の景気 |  ▲ 18.5 |  ▲ 26.3 |  ▲ 6.6 |  ▲ 35.0 |  ±0.0 |
| CCI—LOBO |  ▲ 14.4 |  ▲ 7.8 |  ▲ 8.0 |  ▲ 26.6 |  ▲ 17.0 |

| 仕入単価DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|---|---|--|---|
| 柏の景気 |  ▲ 31.4 |  ▲ 36.8 |  ▲ 40.0 |  ▲ 25.0 |  ▲ 25.0 |
| CCI—LOBO |  ▲ 39.6 |  ▲ 47.2 |  ▲ 47.0 |  ▲ 30.9 |  ▲ 36.5 |

| 従業員DI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|---|---|---|--|---|
| 柏の景気 |  24.2 |  21.0 |  26.6 |  25.0 |  25.0 |
| CCI—LOBO |  25.8 |  36.9 |  20.7 |  21.5 |  30.7 |

| 資金繰りDI | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸小売 | サービス |
|----------|--|--|--|--|--|
| 柏の景気 |  ▲ 7.1 |  ▲ 5.2 |  ±0.0 |  ▲ 20.0 |  ±0.0 |
| CCI—LOBO |  ▲ 8.7 |  ▲ 5.5 |  ▲ 5.8 |  ▲ 17.5 |  ▲ 9.2 |

CCI - LOBO

商工会議所早期景気観測(12月速報)

調査期間：平成30年12月12日～18日

調査対象：全国の423商工会議所が3733企業
にヒアリング調査を実施

全国の業況

業況DIは、横ばい圏内の動き。先行きも不透明感から、慎重な見方変わらず

12月の全産業合計の業況DIは、▲15.7と、前月から▲0.8ポイントのほぼ横ばい。建設業や設備投資に加え、自動車や産業用機械

関連が堅調に推移する状況が続いているほか、インバウンドを含む冬の観光需要の増加を指摘する声も聞かれた。他方、人手不足の影響拡大や原材料費の上昇、根強い消費者の節約志向が引き続き中小企業のマインドに影響を及ぼしており、業況改善に向けた動きには足踏み状況が見られる。

先行きについては、先行き見通しDIが▲15.1（今月比+0.6ポイント）とほぼ横ばいを見込む。年末年始の商戦を契機とする個人消費拡大や、インバウンドを含めた観光需要拡大、生産・設備投資の堅調な推移への期待感がうかがえる。他方、人手不足の影響の深刻化や、原材料費の上昇、コスト増加分

の価格転嫁遅れ、貿易摩擦など世界経済の不透明感、消費増税の影響を懸念する声も多く、中小企業の業況感はいずれも横ばいで推移する見通し。

○各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

産業別にみると、今月の業況DIは前月に比べ、建設業で改善、卸売業、小売業で悪化、その他の2業種でほぼ横ばい。各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「ホテル建設などの民間工事が堅調なほか、公共工事も底堅く、売上は改善した。冬の賞与を増額し、従業員のモチベーションアップを図る」(管工事業)、「技術者のほか、交通誘導員の人手不足も深刻なことに加え、需給ひっ迫を背景に、生コンクリートなどの資材の確保にも難航している。このままでは工期の延長は避けられない」(一般工事業)

【製造業】「アジア向けなど、輸出は堅調に推移しており、売上は改善。しかし、鉄鋼などの原材料価格の高止まりが足かせとなっているほか、米中の貿易戦争や中国経済の減速など、先行きの不安要素は多い」(自動車部品製造業)、「年初より半導体製造装置の受注が多く、空前の活況となっていたが、中国向けの需要が鈍化し、高水準ながらも一服感が出てきた」(半導体製造装置等製造業)

【卸売業】「例年より気温が高いい日が続いたことで、コート類の引き合いが鈍く、売上は悪化した。業績が低迷する中、ベースアップ等を行う余力はなく、今年度は賃上げを見送らざるを得ない」(衣料品卸売業)、「原油価格が下落したことで、採算改善となったほか、堅調な民間工事を背景に、建設業からの受注が増加し、売上も改善した」(化成品・金属製品卸売業)

【小売業】「大企業のボーナス支給額が過去最高となったとの報道を受け、今冬のボーナス商戦に期待していたが、いま一つ盛り上がりに欠け、

消費者の節約志向を強く感じている」(各種商品小売業)、「インバウンド需要が好調で、化粧品や宝飾品を中心に売上改善となった。さらなる需要の取り込みに向け、2月の春節を見据えた様々な対応策を検討している」(百貨店)

【サービス業】「国内外問わず観光需要が好調なほか、忘年会の予約数も多く、売上改善となった。1月の新年会への予約も増えており、今後も売上増が見込まれる」(飲食業)、「人手不足が最大の経営課題であり、応募自体が少ないことに加え、ようやく採用できたとしても、長続きしない。賃上げや労働環境の改善など、人手不足の解消に向けて、あらゆる手を尽くさねばならない」(ビルメンテナンス業)

全国・産業別業況DIの推移

「見通し」は当月水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しDI

| | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸売 | 小売 | サービス |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 7月 | ▲16.7 | ▲11.5 | ▲11.5 | ▲18.8 | ▲29.0 | ▲13.6 |
| 8月 | ▲14.8 | ▲8.1 | ▲11.4 | ▲16.1 | ▲27.7 | ▲11.7 |
| 9月 | ▲16.0 | ▲7.6 | ▲9.6 | ▲17.8 | ▲31.4 | ▲13.9 |
| 10月 | ▲17.2 | ▲10.7 | ▲10.2 | ▲24.9 | ▲29.3 | ▲15.2 |
| 11月 | ▲14.9 | ▲9.9 | ▲10.2 | ▲9.3 | ▲29.2 | ▲13.2 |
| 12月 | ▲15.7 | ▲8.1 | ▲9.7 | ▲17.1 | ▲31.6 | ▲12.4 |
| 見通し | ▲15.1 | ▲5.2 | ▲11.4 | ▲19.0 | ▲30.1 | ▲10.9 |

柏の景気情報

(12月の調査結果のポイント)

調査期間：平成30年12月25日～1月8日

調査対象：柏市内156事業所及び組合に
ヒアリング、回答数70件

柏の景気情報・産業別業況D I

| | 全産業 | 建設 | 製造 | 卸・小売 | サービス |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 7月 | ▲30.9 | ▲21.0 | ▲25.0 | ▲54.5 | ▲14.2 |
| 8月 | ▲11.4 | ▲5.8 | △7.1 | ▲37.5 | △6.6 |
| 9月 | ▲20.0 | ▲22.2 | ▲12.5 | ▲33.3 | ▲6.6 |
| 10月 | ▲12.8 | ▲10.5 | △6.2 | ▲36.8 | ▲6.2 |
| 11月 | ▲12.8 | ▲5.5 | △12.5 | ▲38.0 | ▲13.3 |
| 12月 | ▲12.8 | ▲21.0 | ±0.0 | ▲30.0 | △6.2 |
| 見通し | ▲15.7 | ▲42.1 | △13.3 | ▲30.0 | △6.2 |

「見通し」は今月の水準と比較した向こう3ヶ月の先行き見通しD I

「柏市」の「業況」

全産業業況D Iは変わらず、先行きは不透明感残り、横ばい圏内の動き

12月の全産業合計のD I値(前年同月比)ベース、以下同じは、▲12.8(前月水準▲12.8)となり、変わらなかった。

業種別では、前月水準と比べて、マイナスからプラスに転じた業種は、サービス業△6.2(同▲13.3)である。マイナス幅が縮小した業種は、卸小売業▲30.0(同▲38.0)である。プラス幅が縮小した業種は、製造業±0.0(同▲12.5)である。マイナス幅が拡大した業種

は、建設業▲21.0(同▲5.5)である。

【建設業】からは、「月々の大きな変化はなく、年間平均している。新しい年に期待」(電気工事業)、「畳工事は1、2月は受注が減るので、当社60周年記念としてシャッターや外壁を直したり、機械を新調したり、再スタートの準備をしていきたい」(内装工事業)、「安全対策関係の講習、工

具買い替え、年度末に向けての引き渡し物件の人手不足、大手ゼネコンの自社専属外注発注へ移行等、今後の不安感は大い」(職別工事業)などのコメントが寄せられた。

【製造業】からは、「年末の追い込み仕事が少しあったが、あまり良くはない」(印刷業)、「12月は稼働日数が少なかつた為、前月比売上減。生産は冬季需要が伸び、来月以降に受注残を抱える状況。一時的な需要増とみて残業で消化する予定だが、向こう3ヶ月需要が落ち込まない状況であれば、パート等人員増が必要になりそう」(自動車付属品製造業)、「人手不足の為募集を掛けているが集まらない」

(機械・同部製製造業)、「既成概念にとらわれたままでは前進できない業況ではあるが、周囲の状況に振り回されず、考え過ぎずの改革が必須」(印刷業)などのコメントが寄せ

られた。

【卸小売業】からは、「天候(気温)の影響により、冬物衣料等動向不良、大きな値下げに繋がる。年末はクリスマスを含め大きくお金を使うという傾向はなく、景気の良さは感じられない。年始はインバウンドがほぼ無し」(各種商品小売業)、「クリスマス・年末の賑わいが年々薄く感じられる」(各種商品小売業)、「日本ワ

インが思ったより好調。11月からの表示変更の影響か、日本ワインが注目されている。例年になく多くの運送会社や年末年始長期休暇となり、配送が滞ってしまう事態に」(食料・飲料卸売業)、「銀行より積極的な融資あつせんが多い」(一般機械器具卸売業)、「2018年11月27日「フードストリート」オープン以降、来店客増に伴い売上に貢献」(各種商品小売業)などのコメントが寄せられた。

【サービス業】からは、「12月では前年対比0.5割増加したが、10、11月は良くなかったもので1年トータルでは減少。3月の決算が楽しみ」(酒場・ビヤホール)、「米中経済戦争が強烈に響いてきた12月の世界経済。経営は足元を見て固くいく時代に入った」と想定。日本の参議員選挙と消費税10%の駆け引きに注

目」(投資顧問)、「DX沿線で

30〜40坪で飲食店出店希望の情報を頂くことが多いが、街が若いので手頃な飲食賃貸可の物件が少ない状況。コストを抑えて上手に出店できれば繁盛すると思う」(不動産賃貸・管理業)、「現在の好景気は年末と年度末の駆け込み(瞬間風速)のようなもの。やはり、来年度4月以降が不安」(ソフトウェア業)、「新年の高島屋、丸井の共同の鏡開きを見て、柏の安泰が見えた。絵空事の再開発に流されない、各々が現状を

知恵と汗を流して作っていく市、会議所であつてほしい」(不動産賃貸業)、「お客様の問い合わせは1〜2割減少。高齢者の資産処分、相続物件の売却相談が増えている。全体的に売り物件が不足気味。取引件数は安定している」(不動産管理業)などのコメントが寄せられた。

【12月の景気キーワード】
①一時的な売上増
各業種より、「消費税の駆け込み需要なのか、年末に向けて前年度よりも仕事が多かつた。年が明けて、暖かくなつた。4月までは着工が少ないのではないだろうか」(一般土木建築工事業)、「上旬は暮れの盛り上がりは全くなく、中旬になり一気に昨年の売上を越した。寒さが急に増した事が要

因だが、コートの売上増が金額的には大きい」(婦人・子供服小売業)、「年末のマル得チケットに掲載され、それが昨年に続いて好調。来年もお願いしたい」(菓子・パン小売業)との声

が寄せられた。

◎原材料高騰

各業種より、「ゆっくり動いていた工程が12月に入り急激な忙しさに。年末引き渡し物件の為に、働き方改革等で工期が足りなくなつた結果である。天候に弱い現場施工の為に、人手が足りず余分な経費出費が増えた。材料も上昇傾向」(職別工事業)、「紙の値上げが大幅にあり、採算が合わなくなる心配!」(印刷業)、「値上げ要請が止まらない」(機械・同部品製造業)、「米中貿易戦争のあおりを受け、中国が日本の古紙を高値で買う為、古紙不足となり原紙が高値で推移している」(紙製容器製造業)との声

が寄せられた。

全国の商工会議所早期景気観測調査(OCT-IBO)との比較

全産業合計では、「柏の景気」が▲12.8に対し、「CCI-LO BO」が▲15.7で柏の方がマイナス幅が2.9ポイント小さい。業種別では、「柏の景気」の方が良い業種は、製造業、卸小売業、サービス業であり、サービス業は10ポイント以上良い。「柏の景気」の方が悪い業種は、建設業であり、10ポイント以上悪い。